

この度は、「薬剤師国家試験対策参考書[改訂第12版]⑥薬理・病態・薬物治療Ⅱ」をご購入いただき、誠に有難うございます。

本書について、以下のとおり補足及び訂正させていただきます。

ご迷惑をお掛け致しまして申し訳ございませんが、何卒宜しくお願ひ申し上げます。

薬学ゼミナール編集 青本[改訂第12版]⑥薬理・病態・薬物治療Ⅱ 補足及び訂正一覧表

	訂正前	訂正後
P57 HMG-CoA 還元酵素阻害薬 特徴 2行目	・LDL コレステロール値は「100 μ g/dL 未満を目標とする	・LDL コレステロール値は「100mg/dL 未満を目標とする
P111 メモ欄 9行目	……(HIF: hypoxia inducible factor) ……	……(HIF: hypoxia inducible factor) ……
P124 TTP 治療薬の薬理	3 TTP 治療薬の薬理	3 ITP 治療薬の薬理 本項目をP123「2 ITP の治療」の後ろに移動
P186 [検査] 1行目	……COPD の病期分類には1秒量…	……COPD の病期分類には <u>対標準</u> 1秒量……
P605 ●分子標的治療薬 (抗 HER2 モノクローナル抗体) 特徴 5行目	・ペルツズマブは、トラスツズマブと他の抗悪性腫瘍薬と併用する	・ペルツズマブは、トラスツズマブと他の抗悪性腫瘍薬と併用する

※本書記載の参照頁“→「第〇章 〇.〇.〇 ……」p.〇参照”は、該当の内容が記載されている〇.〇.〇が始まる頁を示しております。

薬学ゼミナール編集 青問[改訂第12版]⑥薬理・病態・薬物治療Ⅱ 補足及び訂正一覧表

	訂正前	訂正後
P591 問 14 選択肢 3 1行目	……APC 遺伝子や <i>KLAS</i> 遺伝子など ……	……APC 遺伝子や <i>KRAS</i> 遺伝子など ……

下表は、2021年12月の医薬品添付文書改訂に伴う追補となります。

	訂正前	訂正後
P194 問 12 問題文	子宮内膜症の病態と治療に関する記述のうち、正しいのはどれか。2つ選べ	子宮内膜症の病態と治療に関する記述のうち、 <u>誤っているのは</u> どれか。2つ選べ。
P195 問 12 解説 選択肢 4	誤 治療薬として、低用量黄体ホルモン・卵胞ホルモン配合剤、GnRH (LH-RH) アゴニストであるリュープロレリン酢酸塩やゴセレリン酢酸塩など、黄体ホルモン製剤であるジェノゲストなどが用いられる。GnRH アンタゴニストであるガニレリクス酢酸塩は、調節卵巣刺激下における早発排卵の防止に使用される。	正 GnRH アンタゴニストであるレルゴリクスは、下垂体の GnRH 受容体に対する選択的な拮抗作用を示すことで、下垂体からの性腺刺激ホルモン分泌を抑制し、卵巣からのエストラジオールなどの性ホルモン分泌を阻害するため、子宮内膜症に基づく疼痛の改善に用いられる。
P195 問 12 解答	3、5	1、2